

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2016年2月10日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	残留熱除去冷却中間ループ系熱交換器(A)の点検時、渦流探傷検査において伝熱管79本に管理値を超える減肉を確認した。当該伝熱管を修理。	
2	1号機	残留熱除去冷却中間ループ系熱交換器(C)の点検時、渦流探傷検査において伝熱管89本に管理値を超える減肉を確認した。当該伝熱管を修理。	
3	1号機	電解鉄イオン注入系電解槽(非管理区域)出口流量スイッチのフランジ部から微量の水が滴下し、下部に水溜まり(約80cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該スイッチを点検・修理。	
4	5号機	工具センターにおける計測器の定期校正時、放射温度計の誤差が管理値を超えていることを確認した。当該計器を点検・修理、測定記録への影響を評価。	
5	6号機	非常用ディーゼル発電機(C)非常用送風機室にあるケーブル中継端子箱と壁面の隙間部からの雨水の浸み出し跡を確認した。当該部を点検・修理。	